

<単元>植物の世界 第2章 葉・茎・根のつくりとはたらき (教科書1年.p29~p.50の一部)

<課題> 葉の表面のつくりや、根のつくりには、どのような特徴があるのだろうか。

1 教科書30ページ「レッツ トライ!」の6種類の植物の葉を見て、共通する特徴と異なる特徴を書こう。

共通する特徴	異なる特徴

2 教科書 32 ページの13~14行目、33ページの1~3行目、図4を見て、葉にある筋のようなつくりについてまとめよう。

- 葉に見られる筋のようなつくりは、() とよばれている。
- 葉脈には、ツユクサやササのように () のものと、ツバキやサクラのように () のものがある。

3 教科書48ページの1~7行目、図1、10~12行目、図2を見て、根のつくりについてまとめよう。

- トウモロコシやイネなどの植物は、たくさんの細い根が広がっている。このような根を () という。
- ヒマワリやツバキなどの植物は、太い根をのばし、そこから細い根がのびている。この太い根を ()、細い根を () という。
- 発芽した根に見られる、綿毛のような細かい根を () という。

4 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書こう。

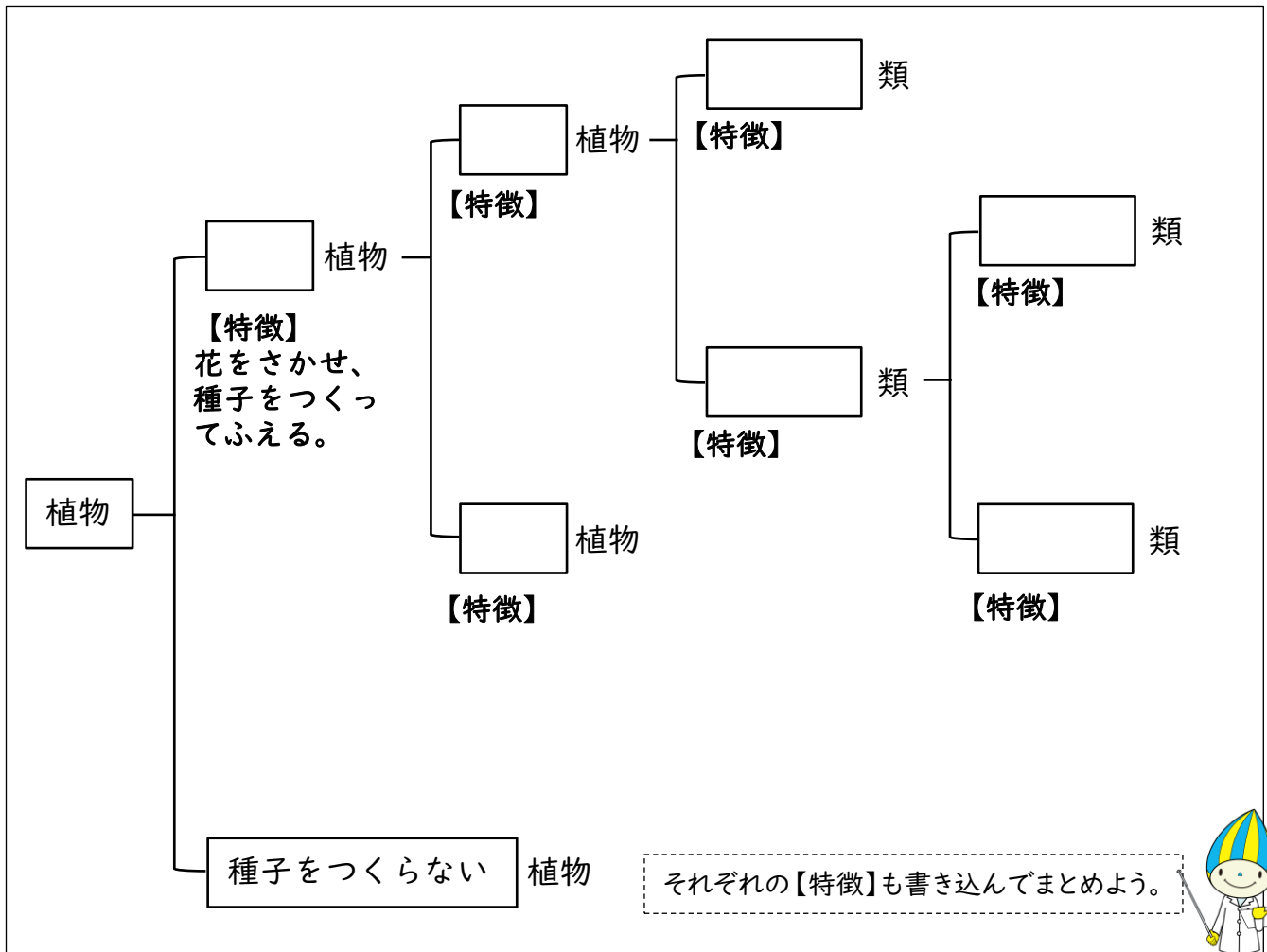
・家の庭などの身近にある植物の葉脈や根のつくりを観察してみるのもいいね。
 ・その際には、コロナウイルスや交通事故などに注意しよう。



<単元>植物の世界 第3章 植物の分類(教科書1年 p.51~p.61)

<課題> 種子植物は、それぞれの特徴によって、どのように分類できるのだろうか。

- 1 教科書 52~53 ページを見て、種子植物がどのような特徴でどのように分類できるか、まとめよう。
 (ただし、52 ページの「10~11 行目の光合成」、53 ページの「5~6 行目と8~9 行目の茎の維管束」と「図3の茎」については、2年生になってから学習するので、ここではそれらの部分を除いてまとめよう。)



- 2 教科書52~53 ページを見て、種子植物の分類のしかたをまとめよう。

- 種子植物は、()、()、() のつくり注目して分類することができる。
- 胚珠に注目すると、胚珠が () ものは被子植物に、胚珠が () ものは裸子植物に分類できる。
- 子葉に注目すると、子葉が () のものは単子葉類に、子葉が () のものは双子葉類に分類できる。
- 花弁に注目すると、花弁が () ものは離弁花類に、花弁が () ものは合弁花類に分類できる。

3 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書こう。

<課題> 種子をつくらない植物(シダ植物、コケ植物)のからだの作りには、どのような特徴があるのだろうか。また、どのようなふえ方をするのだろうか。

- 1 教科書 54 ページを見て、シダ植物のからだの作りとふえ方についてまとめよう。
 (本文中に出てくる「^{いかんそく}維管束」については、2年生になってから学習するので、維管束についてはまとめなくてもよいです。)

2 教科書 55 ページの **観察4**

<ステップ1> シダ植物のからだの作りを
観察しよう。

教科書 54 ページの図2の写真を見て、
イヌワラビのからだの作りをスケッチし、
各部分の名称をかき入れよう。



葉の部分、茎の部分、根の部分が
それぞれどの部分が、示すことが
できるといいね。

3 教科書 55 ページの **観察4**

<ステップ 2> 胞子を観察しよう。

ステップ2の **④** にある写真を見て、
胞子と胞子のうをスケッチし、各部分の
名称をかき入れよう。



- ・54ページの図4を見て、胞子のうがどこに、どれくらいあるかも確かめよう。
- ・55ページの図5を見て、胞子が発芽した後のようすについても確かめよう。

4 教科書 56 ページを見て、コケ植物のからだのつくりとふえ方についてまとめよう。

(5行目の維管束や、8~10行目の根のはたらきは、2年生になってから学習するので、ここではそれらの部分を除いてまとめよう。)

56ページの図2の写真を見て、ゼニゴケの雌株と雄株のつくりのちがいを、胞子のう、胞子についても確認しよう。



5 教科書57ページの「まとめ」を見て、種子をつくらない植物の分類のしかたをまとめよう。

○シダ植物とコケ植物の異なる特徴

シダ植物のからだのつくりには、葉、茎、根の区別が ()。

コケ植物のからだのつくりには、葉、茎、根の区別が ()。

○シダ植物とコケ植物の共通する特徴

どちらも、種子ではなく () によってふえる。

6 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書こう。